

次の補充パラメータをインポートするときの注意が必要です。:

- リードタイム
- オーダーサイクル
- 最小ロット
- 最大ロット
- 丸め
- リードタイム分散

これらのパラメータの特性は、2段階計画中の品目の保管先に依存します。物流センターから供給される計画品目の場合、これらのパラメータは、物流センターからの補充処理を経ることになります。この時のパラメータは次のようになります。:

- **リードタイム** - 物流センターから下層のエシェロンにある地点までの輸送の平均時間間隔
- **リードタイム分散** - 上記で定義されたリードタイムの分散
- **オーダーサイクル** - 物流センターから補充される頻度
- **最小ロット** **最大ロット** **丸め** - 物流センターへのオーダー制約

購入先から供給される計画品目の場合、次のようになります。:

- **リードタイム** - 購入先からの輸送の平均時間間隔
- **リードタイム分散** - 購入先のリードタイム分散
- **オーダーサイクル** - 購入先へ購入オーダーを送付する頻度
- **最小ロット** **最大ロット** **丸め** - 購入先へのオーダー制約

ユーザーのサプライチェーンが2段階モデルで表現でき、下層のエシェロンで品目に保存期限がある場合、その品目を供給する物流センターに対して、保存期限の設定が必要です。次の条件を満たすDC 保存期限が必要です。

DC 保存期限 $\geq$ リードタイム + 保存期限

ここで、:

- **リードタイム** - 物流センターから、下層エシェロンまでの品目の配送時間
- **保存期限** - 下層エシェロンでの保存期限

購入先コード がインポートされない場合 **GMDH Streamline**は、品目に空の購入先コードを割り当てます。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:importing-replenishment-parameters>

Last update: **2020/09/26 10:04**

